

新型コロナウイルス感染症に関連する人権問題について考えてみよう



くらしやすいを「ふつう」にしよう

尼崎市から市民のみなさまにメッセージ

このウイルスはみえません。わからないことも多いため、わたしたちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。こういった不安や恐れから、特定の人・地域・職業などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理が生まれ、それが差別や偏見につながってしまいがちです。怖いのは、こうした差別を受けるのが嫌で、熱や咳があっても受診をためらい、更なる病気の拡散に繋がることです。尼崎市では、一人ひとりが人権を大切に、くらしやすいまちにしていけるための条例ができました。たたかう相手はウイルスです。いまこそ、つらい思いをしている人の立場に立ち、みんなでこの不安と危機を乗り越えていきましょう。

尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会
(尼崎市・神戸地方法務局尼崎支局・尼崎人権擁護委員協議会)

法務省委託事業